

2018.11.1



山武市
SAMMU



議会だより **50**

No.



みんな頑張ったよ！



(まつおこども園)

今月の
表紙

笑顔あふれる運動会！

- 9月定例会、審議結果一覧 P2～3
- 一般質問 P4～18
- 常任委員会報告 P19
- 市議会議員研修会、編集後記等 P20



山武市マスコットキャラクター
SUNムシくん

9 月定例会

平成30年第3回定例会が、9月5日から9月27日まで、23日間の会期で開かれました。市長から諮問1件、議案17件、報告10件の提出があり、議案17件のうち9件は、それぞれ原案のとおり可決されました。

また、各会計決算の認定8件については、「決算審査特別委員会」を設置し、継続審査となりました。

なお、第2回定例会において、継続審査となっていた陳情第3号は、不採択となりました。

<議案等の審議結果一覧>

議案等	議員名	会派等	平成会	さんむ21	未来研	公明党	新国会	さんむ	日本共産党	わかしお
諮問第1号	適任と認める	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するため、議会の意見を求めるもの 小山 和典 氏（下横地）								
議案第1号	可決	専決処分の承認を求めることについて（山武市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について） 介護保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、介護保険料の算定に用いていた合計所得に係る条文が削除され、他の条文を根拠条文として適用するため、本条例の一部を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	可決	山武市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について 介護保険法の改正により、これまで都道府県が行ってきた居宅介護支援事業所の指定権限が、平成30年4月1日から市に移譲されたため、本条例を制定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	可決	山武市議会議員及び山武市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について 公職選挙法の改正により、市議会議員選挙における選挙ビラの頒布が解禁されたことに伴い、公費負担の対象を拡大するため、本条例の一部を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	可決	山武市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 農業委員会等に関する法律の改正により、農地利用の最適化の推進に関する業務が農業委員会の必須とされ、農業委員、農地利用最適化推進委員の報酬について、現在の報酬のほか、農業委員会の活動実績、成果実績に基づき比率給を支給するため、本条例の一部を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	可決	山武市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布され代替保育を提供する連携施設の要件などを定める必要があることから、本条例の一部を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	可決	山武市指定地域密着型サービスの事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令が公布され、指定地域密着型サービス事業の申請者の資格が、これまで法人に限られていたものに診療所を加えるため、本条例の一部を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	可決	平成30年度山武市一般会計補正予算（第2号） 既定の歳入歳出予算額に、1億9,855万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を214億5,056万9千円にするもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	可決	平成30年度山武市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 事業勘定の既定の歳入歳出予算額に、1,312万8千円を追加し、歳入歳出予算総額を70億9,582万8千円にするもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	可決	平成30年度山武市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） 既定の歳入歳出予算額に、76万円を追加し、歳入歳出予算総額を2億7,676万円にするもの	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	継続審査	平成29年度山武市一般会計歳入歳出決算の認定について	閉 会 中 の 継 続 審 査							
議案第11号	継続審査	平成29年度山武市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について								
議案第12号	継続審査	平成29年度山武市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について								
議案第13号	継続審査	平成29年度山武市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について								
議案第14号	継続審査	平成29年度山武市組合立国保成東病院事業清算事務特別会計歳入歳出決算の認定について								
議案第15号	継続審査	平成29年度山武市地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について								
議案第16号	継続審査	平成29年度山武市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について								
議案第17号	継続審査	平成29年度山武市水道事業会計決算の認定について								

○ = 賛成、× = 反対 ※加藤忠勝（議長）は採決に加わりません。

<議案等の審議結果一覧>

			会派等	平成会				さんむ21	未来研	公明党	新国会	さんむ	日本共産党	わかしお												
			議員名	小川善郎	行木三郎	小川吉孝	和田喜治	林善和	櫻田基介	萩原善和	高知尾正義	石川和久	小川良一	能勢秋吉	並木一寅	市川陽子	本山英子	長谷部竜作	大塚重忠	大川義男	大倉弘康	八角公二	並木幹男	加藤忠勝		
報告第1号	報告	平成29年度山武市一般会計継続費精算報告書について	報告のみ（採決なし）																							
報告第2号	報告	平成29年度山武市健全化判断比率報告書について																								
報告第3号	報告	平成29年度山武市農業集落排水事業特別会計資金不足比率報告書について																								
報告第4号	報告	平成29年度山武市水道事業会計資金不足比率報告書について																								
報告第5号	報告	私債権の放棄について																								
報告第6号	報告	地方独立行政法人さんむ医療センター平成29事業年度の業務実績に関する評価結果について																								
報告第7号	報告	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）																								
報告第8号	報告	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）																								
報告第9号	報告	専決処分の報告について（学校給食費滞納者に対し支払いを求める訴えの提起について）																								
報告第10号	報告	専決処分の報告について（学校給食費滞納者に対し支払いを求める訴えの提起について）																								
陳情第3号	不採択	建設アスベスト訴訟の全面救済と建設石綿被害者補償基金の創設を国に働きかける意見書の提出を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	—

報告のみ（採決なし）

○＝賛成、×＝反対 ※加藤忠勝（議長）は採決に加わりません。

決算審査特別委員会を設置

平成29年度各会計決算関係議案については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査とすることになりました。
決算審査特別委員会は10月3日と4日に開催され、慎重に審査されました。

審査の結果は、第4回定例会において報告されます。

決算審査特別委員会委員

委員長 大川 義男

副委員長 八角 公二

委員 小川 良一

林 善和

長谷部 竜作

石川 和久

櫻田 基介



決算審査特別委員会の様子

一般質問

市政を問う！

p6 代表質問 未来研 のせ 能勢 あきよし 秋吉

- ①一般行政について
- ②土木行政について
- ③空港関連事業について

p7 未来研 なみ き 並木 かずのぶ 一寅

代表質問に対する関連質問

p7 未来研 お が わ 小川 りょういち 良一

代表質問に対する関連質問

p8 代表質問 新政会 お お つ か 大塚 しげのり 重忠

- ①市内道路整備について
- ②こども園について
- ③市内開業医について
- ④作田川整備事業について
- ⑤残土条例について

p9 新政会 し し く ら 宍倉 ひろやす 弘康

代表質問に対する関連質問

p9 新政会 お お か わ 大川 よし お 義男

代表質問に対する関連質問

p10 個人質問 日本共産党 なみ き 並木 みき お 幹男

- ①災害対策について
- ②地域公共交通について
- ③生活保護制度について
- ④水道事業について

p11 個人質問 平成会 わ だ 和田 よし は る 喜治

- ①成東中学校の統廃合問題について
- ②少子化対策について
- ③日向の森について
- ④築山整備について

一般質問（代表・個人）とは、議員が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営を進めているか、チェックするものです。

質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域の住民生活に密着している事項など、多岐にわたります。

山武市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。

議会だよりは、質問した議員が自ら原稿を作成し、それを掲載しています。

今回の第3回定例会の会議録（12月中旬発行予定）は、図書館またはインターネットでご覧いただけます。

また、録画中継をインターネット（スマートフォン、タブレットでも可）でご覧いただけます。



山武市インターネット議会中継



9月定例会

p12 個人質問 平成会 はやし 林 よしかず 善和

- ①農業について
- ②観光振興について

p13 個人質問 平成会 さくらだ 櫻田 もとすけ 基介

- ①防災対策について
- ②緑海橋について
- ③経済活性化について

p14 個人質問 さんむ21 いしかわ 石川 かずひさ 和久

- ①財政運営について
- ②まち・ひと・しごと創生総合戦略について

p15 個人質問 公明党 いちかわ 市川 ようこ 陽子

- ①安心・安全なまちづくりについて
- ②教育施策について

p16 個人質問 公明党 もとやま 本山 えいこ 英子

- ①職員の採用について
- ②改正健康増進法について
- ③グリーン成長戦略について

p17 個人質問 公明党 はせ べりゅうさく 長谷部 竜作

- ①防災について
- ②教育について

p18 個人質問 さんむ はつかく 八角 こうじ 公二

- ①成東駅北側整備について
- ②森林整備と木材利用について
- ③富田みどり里山公園について
- ④小中学校の統廃合について





未来研のせあきよし議員 能勢秋吉

一般行政について

問 市では20代、30代の生産年齢人口の転出が非常に多い状態です。雇用が必要だと思いますが、企業誘致対策をどのように考えていますか。

答 市長 企業誘致により、雇用の場の創出、経済的波及効果が生まれます。今後の成田空港の機能強化や圏央道の完成後の展開を含め、中長期的に考えていくとともに、市内にある企業が末永くビジネスを展開できる環境づくりが重要と考えます。

問 圏央道横芝―大栄間は、順調に進めば、平成36年度に完成すると聞いています。インター付近に、市用地を先行取得し、工業団地を作り、空港関連企業の誘致をして、雇用対策に取り組み考えはありますか。

答 総務部長 工業団地の候補地に、企業立地のニーズがあるかを把握

することが重要と考えます。用地の先行取得については、事業実施体制の整備が先決であると思いますが、ケースに応じて、検討を進めていくことが必要だと考えます。

問 山武市学校のあり方検討委員会が答申した、成東中学校と成東中学校の統合について、一部を見直すことで間違いありませんか。

答 市長 地域の理解を十分に得られていないと感じ、一度立ち止まって判断する必要があると考えました。生徒数の減少が見込まれることから、統合という方向性は教育委員会と共通の認識を持ちましたが、統合後の学校位置や時期については、平成31年度中を目途に示したいと考えます。

答 教育長 市長と協議・調整を図りながら進めていきたいと考えます。

問 文化の充実について、成東中央公民館は利用者が多く、公民館類似施設の拠点として活動していますが、建設から45年経過し、本年度も多額の修繕費を計上しています。成東中央公民館の改築について、第2次総合計画に載せ、進める考えはありますか。

答 市長 建て替えについては、公共施設個別施設計画の中で、長期的な財政展望を踏まえ、緊急性、有意性などを考えて、判断していききたいと思っています。

問 総合計画について、後期基本計画の達成率が低い事業をどのように検証しましたか。

答 総務部長 基本事業及び事務事業ごとに各課からヒアリング等を行い内容の把握に努め、達成率の低い政策を分析し、対策に取り組んでいるところです。今後十分に検証して、次期計画につなげていきたいと考えます。

土木行政について

問 成東駅から国道までの都市計画道路の進捗状況についてお聞きします。

答 都市整備課長 総延長約300mのうち、国道から変則十字路までの約100mについて、平成31年度に完成予定と県に確認しています。

問 津辺の交差点改良の計画は、どうなっていますか。

答 都市整備課長 県に確認したところ、平成31年度に完成させる工事については、南口線の既存道路を拡幅して、国道と接続する工事となり、国道と県道成東鳴浜線の交差点改良は、用地買収について地元の協力が得られないため、困難になっていると聞いています。

問 白幡交差点は朝8時前後、非常に渋滞します。長年にわたり、県等へも改良の要望を出しています。市の取り組みはどうですか。

答 市長 今後とも要望活動をしつかりしながら、改良の方向で進めていきたいと思っています。



改良が待たれる白幡交差点

問 県道松ヶ谷地先の道路改良について、取り組み状況をお聞きします。

答 市長 地元の区から要望を受け、昨年、県へ要望書を提出しました。この要望活動が実を結び、本年度、測量調査費が計上され、事業着手します。

空港関連事業について

問 騒音直下に位置する本市では、主にA滑走路による影響を大きく受けますが、更なる機能強化の進捗状況について伺います。

答 総務部長 国・県・空港周辺市町において、内窓設置事業等の環境対策や地域振興実施プランの作成についての担当者協議を行っています。また、NAAは、事業実施に向け、環境影響調査や航空法の変更に必要な手続を行っています。

※NAA：成田国際空港株



未来研 並木 一実 議員

一般行政について

問 ここ数カ月の間で、日本列島

には、西日本の集中豪雨、台風、北海道の地震等、甚大な被害をもたらす自然災害が発生する中、4月に新市長になり、早6ヶ月になります。どのような気持ちでこの6ヶ月を過ごしましたか。

答 市長 4月に市長に就任し、目まぐるしく6ヶ月が経とうとしています。もう、そんなに経つのかと、思っています。

市においても、自然災害が発生した場合の準備をしつかりしなければならぬと考え、来年に向けて、市全体で防災訓練を実施したいと考えています。

問 副市長は、基幹産業は農業だと言いましたが、その言葉に感謝しつつ、山武市にいられて、何に一番力を入れて取り組みたいですか。

答 副市長 広い農地が沢山ある

ので、基幹産業として継続していくことは大事だと思っており、生産者の方々の意見を聞きながら、可能になるような事を考えていければと思っています。



土木行政について

問 県道成田・成東線、県道沿いの路肩未舗装部分の対応についてお聞きします。

答 都市建設部長 路肩未舗装部分の陥没、舗装の経年劣化による表層の剥離など、道路の修繕依頼が多数あります。

現在、県道成田・成東線については、安全対策事業の要望を継続的に行っています。また、早船・下大蔵地先付近については、一部工事が進められている状況で、今後も道路修繕が必要な箇所については、随時、県に報告するなどして、道路状況の改善を要望していきます。

成田国際空港の更なる機能強化について

問 成田国際空港の、平成29年度及び平成28年度の発着回数を伺います。

答 総務部長 平成29年度の発着回数は、25万2447回、平成28年度は、24万5705回です。

問 A滑走路、B滑走路ともに空港南側の、離発着状況について伺います。

答 総務部長 平成29年度のA滑走路、空港南側の離着陸は、7万2128回、B滑走路は5万4593回です。

問 離発着の回数が増加することで、航空機の墜落事故や航空機からの落下物事故が心配されますが、対策について伺います。

答 総務部長 航空機事故が発生した場合は、原則地域防災計画により対処しますが、成田国際空港消防相互応援協定により、他市町、NAA、航



未来研 小川 良一 議員

空会社に必要な応援を依頼します。また、本年7月には、県及び空港周辺関係機関により、成田国際空港航空災害対策協議会が設立されています。落下物対策は、NAAから、航空会社に対し、定期的に落下物対策の注意喚起等を行っていると考えています。

問 市航空機事故被害見舞金支給規則の内容について伺います。

答 総務部長 航空機の墜落事故または航空機からの落下物により、市民や市内の住宅が被害を受けた際に見舞金を支給するものです。

問 NAAによる航空機事故が発生した際の補償について伺います。

答 総務部長 航空機事故の補償については、原因者である航空会社が行います。

問 成田空港周辺の地域づくりに関する基本プラン策定のスケジュール及び具体的な地域振興事業の計画を伺います。

答 総務部長 平成31年度中の策定に向け、騒音対策事業の拡充、観光振興の促進、地域医療の充実などについて協議をしています。

問 交付金以外に、企業誘致や空港関連施設の誘致、主要な国・県道路の整備等に県の積極的な協力が必要と考えますが、どう考えていますか。

答 市長 県への事業要望・協力要請等の働きかけを行っていきます。



代表質問

来交通量の検証や費用対効果等の確認、整備手法の検討、地元地区の意向など、本路線のあり方、実現の可能性について確認していきたいと考えます。

こども園について

問 まつおこども園が豊岡小学校へ移転しますが、その進捗状況について伺います。

答 保健福祉部長 まつおこども園は、現豊岡小学校校舎を平成31年度に改修し、平成32年4月開園の計画で、準備を進めています。本年度は、実施設計業務を進めています。

市内開業医について

問 少子高齢社会の中、開業医の果たす役割は非常に重要だと思えます。山武地域には、市で管理する国保日向診療所がありますが、年間延べ患者数は何人ですか。

答 保健福祉部長 平成27年度実績で7825人、平成28年度実績で7548人、平成29年度実績で7443人です。

問 医師の高齢化や後継者不足など、今後開業医が減少する可能性も想定しなければなりません。日向診療所においても、医師にはかなりの年月を頑張つて診療にあたっていたと考えています。市はどのような対策を考えていますか。

ますか。

答 市長 国保日向診療所は昭和53年に開設され、地域の身近な医療機関として多くの方が診療を受けています。市としては、先生の意向を尊重しながら、国保日向診療所のあり方について、検討もしていかなければいけないと思います。

また、開業医の先生は、かかりつけ医として重要な役割を担います。市民が地域で継続性のある適切な診療を受けられるように、さんむ医療センターにもその一翼を担ってもらう必要があると思います。

問 国保日向診療所へ向かう進入路等は危険な場所もあります。高齢者が安心して通えるように、できれば公共交通機関で通えるような場所を選定し、継続してはどうかと思いますがどうですか。

答 市長 国保日向診療所の移転については、診療所のあり方や方向性とともに検討していきます。

作田川の整備状況について

問 日向駅周辺については、降水により、床下浸水等を繰り返しています。各地で災害が起きる中、住民は非常に不安な日々を過ごしています。現在、継続事業として作田川の成東堰近辺の整備を行っていますが、進捗状況

について伺います。

答 都市建設部長 県に確認したところ、成東堰本体及び周辺河川改修工事には、あと数年の期間を要することです。

問 成東堰近辺の工事と、日向駅周辺の再工事等を、同時に行うことはできませんか。

答 都市建設部長 工事は必要と考えますが、県では作田川整備計画に基づき下流部から整備することです。



作田川(日向駅付近)

残土条例について

問 旧山武町の時に、県条例よりも厳しい残土条例を制定しました。その条例に違反した件数は何件ですか。

答 経済環境部長 残土の埋め立てによる地下水の水質の汚濁の防止に関する条例の違反事例は、平成18年から平成30年8月末現在で、成東地域で3件、山武地域で6件、松尾地域で1件です。条例違反により、指導・改善された案件は10件中7件で、残りの3件については、継続指導を行っています。

市内道路整備について

問 成田空港の機能強化に伴い、空港周辺地域で地域振興事業が今後非常に重要になります。しかし、市では成東地区から空港へ向かう道路がありません。急激な環境の変化に対応するために、成東地区から成田空港へ向かう道路を整備することが必要と考えますがどうですか。

答 市長 成田空港周辺との近接性等の立地条件を活用した市のまちづくりを進める上では、成東・山武地域から成田空港方面へのアクセス道路については必要ではないかと考えます。

答 都市建設部長 山武警察署付

近から、山武地区陸岡方面に向かう県道成東・山武線の、松尾地区側の丘陵地を並走する市道等の成田空港方面へのアクセス道路の整備ですが、総延長約10kmにわたる長い路線のため、全体整備計画の策定が重要と考えます。将



市道整備について

問 木原の県道から八街市へ抜ける市道は、通勤や大型車の交通が多く、道路の傷みが激しいですが、市の対応について伺います。

答 都市建設部長 道路修繕については、破損・劣化状況の著しい部分から計画的に整備する予定で、本年度本原踏切部分を実施します。

問 椎崎弓手から踏切を渡り東金市に向かう道路は、すれ違いが出来ず渋滞します。踏切と道路の拡幅が必要と思われますがどうですか。

答 都市建設部長 踏切の拡幅はＪＲとの協議で難しい状況ですが、道路部分のすれ違いに支障がある問題の解消に向け道路境界の確認を行い、部分的な拡幅等の措置を講ずる考えです。

作田川整備事業について

問 日向駅南側の河川改修済みの

所は中洲が出来て雑木が茂り水流の妨げになります。市の対応はどうですか。

答 都市建設部長 河川の適正な管理について、県に強く要望します。

問 上流部分の堤防の草刈りを地域で実施していますが、高齢化により困難な地区が出てきています。市の対応について伺います。

答 都市建設部長 高齢化や人手不足により草刈りが困難な場合は、市に相談していただきたいと思います。

残土条例について

問 戸田地先の残土持ち込みの経緯について伺います。

答 経済環境部長 市民からの情報を受けて確認しました。残土条例違反が考えられるため、立ち入り検査を実施し、残土の搬入を阻止するため、監視カメラを設置し、警察署の過積載の検問により、搬入が止まりました。

問 残土の全量撤去はされますか。

答 経済環境部長 全量撤去に向けて事業所に必要な応急の措置を命じていきます。

答 経済環境部長 全量撤去に向けて事業所に必要な応急の措置を命じていきます。

問 残土条例に不備があれば条例改正が必要と思われますがどうですか。

答 経済環境部長 残土条例を改正する際は先進自治体の動向等を参考にし、住民の安心安全、自然環境の保全を強化するために早急に対応します。

まつおこども園について

問 移転整備に係る実施設計の内容について伺います。

答 保健福祉部長 毎日の保育は1階で行えるよう校庭に面する教室を保育室に改修します。現在の職員室の境を取り払い、0～1歳児用の保育室にする計画です。各保育室の前に出入口、保護者への引き渡し場所としてウッドデッキ・屋根を設置します。2階は図書室等を3歳児以上の遊戯室として利用し、非常時の避難用としてらせんスロープを設置します。入園・卒園式等は体育館を利用し、臨時駐車場・花畑等も整備します。

問 安全面について伺います。

答 保健福祉部長 2階の遊戯室は外で遊べない日に利用し、移動は保育者と一緒に行います。階段は安全ゲートを設置し、ソフトな素材とします。

問 実施設計後のスケジュールはどうなっていますか。

答 保健福祉部長 工期は8カ月を見込み、12月議会で補正予算を、2月に工事入札を予定します。3月議会での契約議決を目指しています。

問 保護者への周知はどうですか

答 保健福祉部長 6月に移転説

答 保健福祉部長 6月に移転説明を実施し、10月の園行事時にも説明します。また、来年2月の入園説明会で詳細について周知を図る予定です。

こども園周辺の市道整備について

問 豊岡地区から県道成田松尾線に向かう道路整備について伺います。

答 都市建設部長 こども園周辺事業として進めています。大雨時に道路が冠水し松尾地区から豊岡地区に向かう路線の確保を目的として測量調査をしています。本路線の整備は成田空港周辺の地域づくりに関する基本プランや実施プランへの位置づけを図り進めていきたいと考えています。

問 今後の予定はどうですか。

答 都市建設部長 地区説明会を

答 都市建設部長 地区説明会を開催した上で、設計に入りたいと考えています。

問 古和地区公民館前の道路整備についてはどうですか。

答 都市建設部長 継続的に事業を実施し、早期完成に努めます。



日本共産党 並木幹男 議員

災害対策について

問 市では、地域防災計画に基づき、地震、風水害対策、土砂災害への対応に取り組んでいます。今後、どのような対策を優先して行っていくのか伺います。

答 市長 今後は、次の2点を重視し、防災力の向上に努めていきます。一点目は、計画的に施設等の整備を継続し、発災時の災害対応の実効性を高めるための地域防災計画等の修正、マニュアル等を見直し、これに基づく防災訓練による災害対応能力の向上を図ります。二点目は、市民の防災意識の向上と、自主防災組織の能力強化です。このため、市民に対しては、防災講話等により、自分の身は自分で守ることが、災害の基本であることを、また、自主防災組織の能力向上のため、自主防災組織の会長や、防災士を対象とした、勉強会による知識の付与と、防災

訓練の実施を促していきたいと考えています。

問 大阪北部地震で、女子児童が倒れたブロック塀の犠牲となる痛ましい事故を受けて、国も緊急調査に乗り出し、自治体では、安全点検や、新たな補助金制度の創設・拡充をする動きが広がっています。学校施設における点検状況とその対応について伺います。

答 教育部長 学校敷地内にある23カ所のブロック塀の傾き、打診、鉄筋探査による調査を一級建築士に委託しました。その結果、問題のないブロック塀は6カ所、改善等の必要があるブロック塀は、17カ所という報告でした。この点検結果を受け、改善等の必要がある17カ所については撤去をしていく予定で、うち8カ所はフェンス等の設置を考えており、現在、撤去・改修工事の費用の見積りを依頼中です。

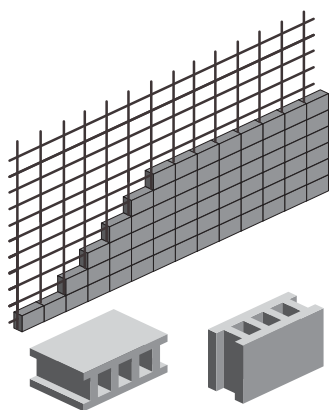
問 通学路沿いの、ブロック塀の点検状況と、その対応についてはどうか伺います。

答 教育部長 6月末に、小中学校で通学路全域の危険なブロック塀等の調査をし、その報告をもとに、山武土木事務所と市都市整備課で安全点検を実施しています。その後、県から、小学校を中心として、半径500m以内の通学路で、1・2m以下のものを除くブロック塀等について再調査の依

頼があり、現在、各小学校で再調査を実施し、9月中旬に完了する予定です。再調査の結果は県に報告し、県の指示を受けて、今年度完了を目安に合同点検を実施する予定です。

問 今回大阪北部地震を受けて国でも補助制度を拡充していますが、市としてブロック塀の撤去等に関する支援制度を考えていますか。

答 都市整備課長 国及び県から、ブロック塀の撤去に関する補助事業について、安全ストック形成事業の効果促進事業として、対応する旨の照会があり、ブロック塀の撤去に特化した助成事業について検討しています。



地域公共交通について

問 市地域公共交通活性化協議会では、乗合タクシーの目標として、乗合率を高め、効率的な運行となる配車を検討し、利用者満足度を高め、新たな利用者確保に努めています。

市民から改善要望として、他地域への乗り入れや、成東駅などへの配車希望も出されていますが、この対応についてはどうか伺います。

答 総務部長 乗合タクシーへは、地域外運行の要望が多くあり、市内全域での実施に向けた課題としては、運行距離が長くなることで、1日の運行本数が減少することから、予約が取りづらくなったり、運行経費の増加から、運賃の値上げについても検討が必要になります。また、既存の路線バスや一般タクシーへの影響も考慮する必要があります。現在の公共交通システムは、基幹バスと乗合タクシーを連携させたものであるため、システムの再構築を考える必要があると思われます。乗合タクシーの運行についても、地域公共交通活性化協議会で検討していただく必要があります。



①さんバス ②あいのりくん